

2023

みずほフィナンシャルグループ

統合報告書

ディスクロージャー誌 本編

2022.4.1 - 2023.3.31

「ともに挑む。ともに実る。」

それは、お客さま一人ひとりに、ともに寄り添うこと。

挑戦する企業をサポートしながら、ともに歩んでいくこと。

みずほで働く人同士が、ともにより良く変わっていくこと。

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO



〈みずほ〉の源流は、
社会経済の発展に貢献すること。
私たちは、
これからも先見性をもち、
豊かに実る未来を
共創していきます。



DINIA



〈みずほ〉の企業理念

Mizuho's Corporate Identity



編集方針

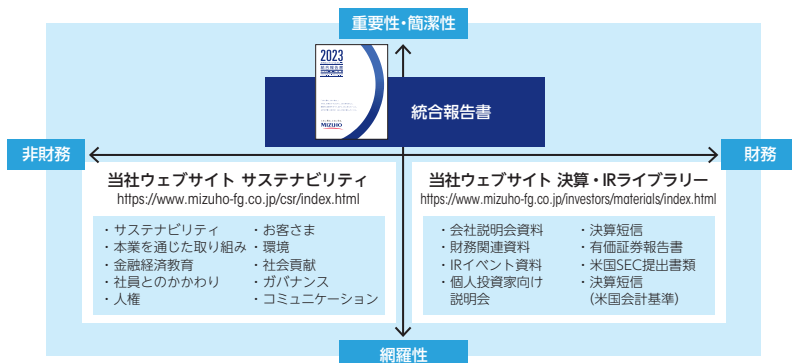
本誌は、〈みずほ〉がどのようなお客さまや経済・社会に対し価値創造を実現していくのかを、ステークホルダーの皆さまにお伝えし、コミュニケーションを深めるために発行しています。



簡潔に分かりやすく、ストーリー性を持った説明となるよう、財務情報のみならずESG情報等の非財務情報を含めて編集しています。

本誌における記載内容については、みずほフィナンシャルグループにおける、社外取締役も出席する取締役会や監査委員会への報告、またディスクロージャー委員会での適正性確認の審議を経て、最終的に執行役社長が決定しています。

本誌を通じて、「フェアでオープンな立場から、時代の先を読み、お客さま、経済・社会、そして社員の〈豊かな実り〉の実現」をめざす〈みずほ〉を、より一層ご理解いただければ幸いです。



参照ガイドライン

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」(2021年1月改訂版)
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」2.0 (2022年8月公表)

報告対象

期間：2022年4月～2023年3月（一部、2023年4月以降の情報を含みます。）
 範囲：原則としてみずほフィナンシャルグループおよび子会社・関連会社

発行時期

2023年7月

日本初の銀行である第一国立銀行。〈みずほ〉の源流の一つである同行が発足した1873年から150年。グローバル化の質的变化、ESGへの急速な意識の高まり、テクノロジーの進展に伴う社会変革、少子化・高齢化の加速など、時代はますます不確実性を増し、過去の延長線上に未来への解はありません。そんな時代を切り開いていくために、日本、そして世界には、多くの挑戦が求められています。これからの私たちは、あらゆる人々と関わり合いながら、これまでの常識を超える解をこれまでにないスピードで創出し続けなければなりません。

〈みずほ〉には、渋沢栄一、安田善次郎など数多くの先人がフェアでオープンな姿勢と先見性をもって、社会経済の発展に挑んできたDNAがあります。そして、現在の私たちには、だれよりも変化に先駆け、新しい価値を生みだそうとする熱意があります。こうした背景や思いを踏まえ、〈みずほ〉は、「ともに挑む。ともに実る。」をパーパスとして掲げます。

それは、お客さま一人ひとりの夢と希望に向かう挑戦に寄り添い、金融やコンサルティングの力で幸福な人生に貢献すること。それは、新しい技術や事業へ挑む企業に、他企業との協業や、事業・金融面のサポートをしながら、サステナブルな社会に向けてともに歩んでいくこと。そしてそれは、〈みずほ〉で働くすべての人がつながり合い、日々新たな視点で変革や改善に取り組み、未来を変えていくこと。

お客さまの挑戦を支え、自らも変革に挑戦しながら、豊かに実る未来を共創していく。その決意を新たに、私たちの思いをこのことばに託しました。

私たちの、新たな未来のスタートです。

ともに挑む。ともに実る。

CONTENTS

トップメッセージ・特集	価値創造のための事業戦略	価値創造を支えるガバナンス
P.5 CEOメッセージ	P.49 人材と組織	P.83 コーポレート・ガバナンス
P.11 取締役会議長メッセージ	P.61 サステナビリティ	P.95 リスクガバナンス
P.13 特集 成長戦略と中期経営計画	P.71 デジタルトランスフォーメーション	P.98 サイバーセキュリティ
P.25 CFOメッセージ	P.75 カンパニー・ユニット別事業戦略	P.99 コンプライアンス
P.29 対談 企業理念と成長戦略について	リテール・事業法人カンパニー	P.101 お客さま本位の実践
P.31 特集 企業風土変革の取り組み	コーポレート& インベストメントバンキングカンパニー	P.103 ステークホルダーコミュニケーション
P.33 対談 企業風土変革について	グローバルコーポレート& インベストメントバンキングカンパニー	
P.37 エンティティ長メッセージ	グローバルマーケティングカンパニー	
P.39 業務の安定運営に関する取り組み	アセットマネジメントカンパニー	
	グローバルトランザクションユニット	
	リサーチ&コンサルティングユニット	
〈みずほ〉の価値創造プロセス		データセクション
P.41 価値創造プロセス		P.105 11年間の主要財務データ
P.43 価値創造のための資本		P.107 2022年度の振り返りと分析
P.45 マテリアリティ/リスクと機会		P.109 会社概要
P.47 財務ハイライト/非財務ハイライト		